

タカ渡り調査マニュアル&調査用紙記入要領

●集計用紙●

◀調査地の概要等▶

◇調査地名

通称名で結構です

◇環境

- (a) 地形 (次の例から言葉を選ぶ)
 山頂、尾根、山の斜面、高原、丘陵、建造物の上、その他 (具体的に)
- (b) 見通し (次の例から該当する番号を選ぶ)
 1. 周囲が全方向に渡ってよく見渡せる
 2. タカが飛んで来る方向しか見渡せない
 3. タカが飛んで行く方向しか見渡せない
 4. 山の斜面などのためにタカが横切る様子しか見えない
 5. 水平方向に障害物があり、上方だけしか見えない
 6. 見渡せない部分が少ない。(その方向を記入)
 7. その他 (その内容を記入)
- (c) 視界・障害物とは無関係の、霧や空気の汚れなどによる見通し
 1. 双眼鏡で約2km以上見通せ、ワシタカの識別ができる
 2. 双眼鏡で約1~2kmまで見通せ、ワシタカの識別ができる
 3. 双眼鏡で約0.5~1kmまで見通せ、ワシタカの識別ができる
 4. 双眼鏡で約0.5kmまでしか見通せず、それ位までしかワシタカの識別ができない

◇天候

- (a) 雲量: タカがよく飛んだ時の空の約何%が雲であったかを記してください
 (b) 風向: 風が吹いてくる方向を東西南北で記してください
 (c) 風力: 下記のビューホルトの風力階級から選んでください
 0. 無風。煙はまっすぐにのぼる
 1. 煙がたなびくので風があるとわかる
 2. 顔に風を感じ、木の葉がそよぐ
 3. 旗がひらめき、細い枝が絶えず動く
 4. 旗がはためき、紙切れが舞い上がる
 5. 葉のある灌木が揺れ、水面に波頭が立つ

◀30分毎の集計▶

◇個体数

30分単位で、種類毎に羽数を記入してください

◇種名

はっきり識別できないときは、タカsp、ハイタカspなどと記入してください

●カウント用紙●

◇調査範囲

調査地点からよく見えた範囲を通過したものをカウントします

◇通過時刻

調査地点に最も近寄った時を通過時刻とします

◇個体数

群れ毎の個体数を書いてください。群の区切りは大まかで構いません。

◇通過方向

東西南北や地名で記してください。方向がわからない場合は無記入

◇高度

- 次の番号から選んでください
 1. 調査地点より下を通過
 2. 調査地点から15mまでの高さ。(ビルでいうと5階建てくらい)
 3. 肉眼で容易にタカが識別できる高さ
 4. 肉眼でやっとタカが見えるくらいの高さ
 5. 双眼鏡でないとタカが見えない高さ

◇備考

天候、風の変化、帆翔や直行などの飛行の形態、成鳥・幼鳥の区別、特記すべき行動などを記入してください

注意点

- ・渡りの途中でないと考えられるものはカウントしないでください。
 (例) サシバやハチクマで引き返す個体、地付きのイヌワシ・クマタカ・ミサゴ
- ・タカ目の渡りの調査ですが、その他の鳥やアサギマダラの渡りも是非記入してください。
- ・調査地点に着いたら、方角をよく確認しておきましょう。
- ・タカの局所的な動きにとらわれないために、できるだけ遠く離れているときの去来方向を確認しましょう。
- ・調査者が多いときは、追いつけ係をつくり、タカが見えなくなったときの方向を飛去方向とするなど、工夫してください。
- ・集計用紙・カウント用紙を印刷 (A4版) してお使い下さい

☆☆☆お願い☆☆☆

- ・調査終了後、集計用紙とカウント用紙を平野まで提出下さい。
- ・その後の調査の参考になるよう、調査終了後なるべく早く (できれば当日) 速報値をお知らせ下さい。
調査報告や速報データは、下記の平野のメールアドレス
 速報値を送る場合は、下の記入例を参考にして下さい。

(記入例)

場所:	刈安山			
日付:	10月3日			
時間:	9:30-12:00			
天候:	曇時々晴、西の風			
調査:	平野			
	サシバ	ハチクマ	ハイタカsp	
9:30-10:00	3		1	
10:00-10:30	12	2	3	コノハブサ1
10:30-11:00	15	1	2	
11:00-11:30	8		5	
11:30-12:00	3	1	4	
合計	41	4	15	コノハブサ1

*天気はよいが思ったほど渡らなかった。ハイタカの仲間が多かった。

